

音楽科学習指導案

平成20年10月16日

海田町立海田中学校

教諭 金森 信午

1 学年・学級 第3学年〇組 40名（男子21名 女子19名）

2 場 所 音楽室

3 題 材 名 バレエの名曲を紹介しよう

4 教 材 名 バレエ音楽「白鳥の湖」から“情景”（P. I. チャイコフスキー作曲）

5 題材の目標

バレエ音楽「白鳥の湖」より“情景”の鑑賞を通して、その音楽から想像した情景や、感じたイメージ・感情などの「曲想」を、その根拠となる音楽の「構成要素」や「表現要素」などの「諸要素」と関連付けて、「自分の言葉」で表現することができるようにする。

6 題材について

（1）題材観

本題材のねらいは、バレエ音楽「白鳥の湖」より“情景”の鑑賞を通して、その音楽から想像した情景や、感じたイメージ・感情などの「曲想」を、その根拠となる音楽の「構成要素」や「表現要素」などの「諸要素」と関連付けて「自分の言葉」で表現することができるようにすることである。

これは、学習指導要領の指導事項のうち、次の事項にあたるものである。

B 鑑賞（1）

ア「声や楽器の音色、リズム、旋律、和声を含む音と音とのかかわり合い、形式などの働きによって生み出される曲想とのかかわりを理解して、楽曲全体を味わって聴くこと。」

イ「速度や強弱の働き及びそれらによって生み出される曲想の変化を理解して聴くこと。」

バレエは、音楽と踊りが一体となって物語を展開していく総合芸術である。音楽が踊りなどの身体表現、ストーリー、衣装や舞台装置等の美術といった諸芸術と結びついているので、場面や情景を想像したり、イメージや感情などを感じたりするなど、その音楽固有の表情、雰囲気、気分や味わいなどの「曲想」を感受することが容易にできるものと考えられる。また、教材曲であるバレエ音楽「白鳥の湖」は、今日、世界中で最も多く上演される演目の1つである。中でも“情景”は、単独で演奏されたり、テレビコマーシャルなどでたびたび取りあげられたりするなど広く親しまれている名曲である。そして、その音楽からは、チャイコフスキーの色彩あふれるオーケストレーション、美しい旋律や表情豊かな構成などの作曲技法によって、「曲想」ばかりではなく、「構成要素」や「表現要素」などの「諸要素」を知覚することが容易な曲であると考えられる。

本題材では、この教材曲を鑑賞することを通して感受した「曲想」を音楽の「諸要素」と関連付けて、「自分の言葉」で表現するという活動をする。自分の考えを文章に書いたり、発表したりすることによって、音楽に対する理解を深めたり、そのよさや美しさを一層深く味わって聴くことにつながっていくものと考えられる。

(2) 生徒観

本題材を取り扱う前に、「バレエ音楽の鑑賞」と「自分の言葉で表現すること」に関するアンケートを実施した。

「バレエ」については、本学級の生徒の中には幼い頃よりバレエを習ったり、新体操部に所属しバレエを体験したりするなど、日頃からバレエに親しんでいる者がいる。しかしながら、これはごく少数であり、ほとんどの生徒が映像を含めてバレエを鑑賞した経験がないことが分かった。

「オーケストラの曲の鑑賞」に関しては、吹奏楽部に所属して日頃から親しんでいる生徒の他にも興味を持っている者が多いことが分かった。これは、本校において広島交響楽団による音楽鑑賞教室を実施したことによることが理由の1つに挙げられる。一方、「曲想」や音楽の「諸要素」を聴きとることについては、7割程度の生徒が苦手と答えた。このことは、「全国学力・学習状況調査」における「『読むこと』文章の内容を正確にとらえる力の育成」や「表やグラフなどからその関係を見だし、それを式にする力」などの通過率が低いことからもうかがうことができる。

「自分の言葉で表現すること」については、8割以上の生徒が書いたり発表したりすることが苦手であると答えた。このことは、広島県が実施した「『基礎・基本』定着状況調査」における「『言語事項』漢字を書くことの力の育成」、「理由を挙げて自分の考え方や解き方を説明すること」、「自分の考えや気持ちなどが正しく伝わるように話す力」などの項目や「全国学力・学習状況調査」における「解答を文章で書く問題について、最後まで書こうと努力した」などの項目の通過率が低かったり、「全国学力・学習状況調査」における「解答を言葉や式を使って説明する問題は、最後まで解答を書こうと努力したか」という問いに対し、途中であきらめた」という回答が多かったりすることなどからもうかがうことができる。

また、自分の言葉で書く際に、先に述べたように最後まで書こうすることができない生徒がいる。その理由として、「書く意欲がない」ことや、「解答・回答が分からない」「書き方がわからない」「考え方がわからない」など書く意欲があってもそれができなかつたり、それによって書く意欲が失われたりすることなど様々なことが考えることができる。

(3) 指導観

本時のねらいにせまるため、指導にあたっては、本県教育委員会が推進している「ことばの教育」と関連させながら、次の①および②の「言語技術」¹⁾を活用することとした。

① 「情報を的確に分析する技術」

曲を聴く活動を通して、自分なりに曲想などを感じ取らせる。その際、その理由を主語と述語を明確に書かせる。また、「音楽的用語や記号」を用いて考えさせたり見つけさせたりすることによって筋道を付けさせる。さらに、曲の紹介を自分の言葉で表現させる。これによって自己の創造やイメージや感情などをより深めることができると考える。

② 「受け答えをする技術」

根拠を基に自分の考えを発表させ、意見交流をさせることによって考えの共有化ができるものとする。これによって、音楽の様々な構成要素や表現要素の働きを知覚し、曲想を感じ取ることに繋がると考える。

¹⁾ 「ことばの教育」および「言語技術」に関しては、「平成20年度、広島県教育資料」「平成17年度『ことばの教育』パイロット校実践事例集」「平成18年度『ことばの教育』パイロット校実践事例集」(以上、広島県教育委員会)を主要参考文献とした。また本校は、広島県教育委員会から「ことばの教育」ステップ・アップ事業研究地域に指定されている。

7 題材の評価規準

	ア 音楽への関心・意欲・態度	イ 音楽的な感受や表現の工夫	エ 鑑賞の能力
題材の評価規準	・バレエ音楽に関心を持って聴いている。	・音楽の様々な構成要素や表現要素の働きを知覚し、曲想を感じ取っている。	・楽曲の構成要素・表現要素の働き、及びそれらが生み出す曲想の変化を感じ取って聴き、楽曲全体を味わって聴き取っている。
学習における評価規準の具体例	①バレエ音楽「白鳥の湖」から“情景”を作曲者や曲の背景などと関連付けながら、関心を持って聴いている。	①バレエ音楽「白鳥の湖」より“情景”から、その情景やイメージ、感情などを感じ取っている。 ②「音楽的用語や記号」に関連する構成要素や表現要素を知覚し、バレエ音楽「白鳥の湖」の曲想やその変化を感じ取っている。	①「白鳥の湖」に含まれる構成要素や表現要素の働き、及びそれらが生み出す曲想の変化について、言語技術を活用して紹介をするなど、楽曲全体を聴き取っている。

8 指導と評価の計画

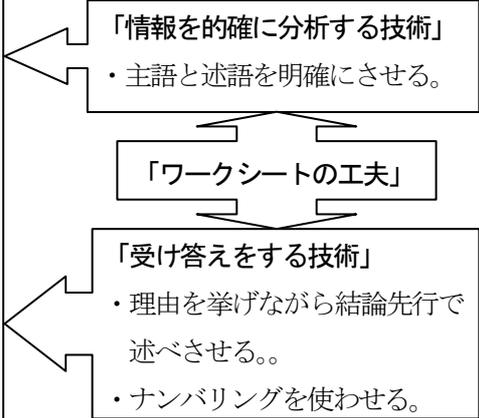
次	学習内容（時数）	評価				評価規準	評価方法
		関	感	鑑			
1	【ふれる】（1） 教材曲バレエ音楽「白鳥の湖」より“情景”にふれる。 ・CDで教材曲を聴く。 ・作曲者や曲の背景についての説明を聴く。	◎			・バレエ音楽「白鳥の湖」から“情景”を作曲者や曲の背景などと関連付けながら、関心を持って聴いている。 (ア①)	・観察	
2	【課題把握】（1） <本時> 教材曲バレエ音楽「白鳥の湖」より“情景”から得るイメージについて考える。 ・曲を聴いて想像した情景や、感じ取ったイメージ・感情などをワークシートに書く。 ・感じ取った理由を、「音楽的用語や記号」を使って書く。 ・意見交流をする。		◎		・バレエ音楽「白鳥の湖」から“情景”から、その情景やイメージ、感情などを感じ取っている。(イ①) ・「音楽的用語や記号」に関連する構成要素や表現要素を知覚し、バレエ音楽「白鳥の湖」の曲想やその変化を感じ取っている。(イ②)	・ワークシートの記述内容 ・発言内容	
3	【課題解決】（1） バレエ音楽「白鳥の湖」より“情景”の紹介をする。 ・前時のワークシートをまとめ、紹介文 ²⁾ を書き、発表する。			◎	・「白鳥の湖」に含まれる構成要素や表現要素の働き、及びそれらが生み出す曲想の変化について、言語技術を活用して紹介をするなど、楽曲全体を聴き取っている。(エ①)	・ワークシートの記述内容 ・発言内容	

²⁾ 紹介文の例については<参考資料②>を参照。

9 学習の展開 (2/3 時間)

過程	学習活動 (時間配分)	指導上の留意事項	評価規準< > (評価方法)
課題把握	1 本時のめあてを把握する。(2分)	<ul style="list-style-type: none"> ・めあてを板書し、明確にする。 ・活動内容を説明する。 	
課題追求	2 バレエ音楽「白鳥の湖」を2回聴く。(6分) 3 曲を聴いて想像した情景や、感じ取ったイメージ・感情などをワークシートに書く。(10分) 4 感じ取った理由を考えながら、もう1度聴く。(3分) 5 感じ取った理由を、音楽的な用語や記号を使って書く。(10分) 6 意見交流をする。(15分)	<ul style="list-style-type: none"> ・感じ取ったことを、メモを取りながら聴かせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">「情報を的確に分析する技術」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主語と述語を明確にさせる。 </div> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;"> <p>↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p style="text-align: center;">「ワークシートの工夫」</p> </div> <p>↓</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">「受け答えをする技術」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理由を挙げながら結論先行で述べさせる。 ・ナンバリングを使わせる。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・楽器の音色や旋律の特徴などの構成要素、強弱やテンポなどの表現要素などに関連付けて考えさせる。 ・メモをとりながら聴かせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バレエ音楽「白鳥の湖」から“情景”から、その情景やイメージ、感情などを感じとっている。<イ①> (ワークシートの記述内容) ・「音楽的用语や記号」に関連する構成要素や表現要素を知覚し、バレエ音楽「白鳥の湖」の曲想やその変化を感じ取っている。<イ②> (発言内容) (ワークシートの記述内容)
まとめ	7 本時のまとめをする。(3分) 8 次時は、ワークシートをもとに、「白鳥の湖」の紹介文を書くことを知る (1分)	<ul style="list-style-type: none"> ・情景やイメージ・感情などを、楽器の音色や旋律の特徴などの構成要素、強弱やテンポなどの表現要素などに関連付けて、自分の言葉で表現できているかを評価する。 	

バレエ音楽「白鳥の湖」から“情景”を聴き、想像した情景や感じ取ったイメージ・感情などを、音楽的な用語や記号を使って自分の言葉で表現する。



<参考資料①>

ワークシート①

3年（ ）組（ ）番 名前（ ）

P. I. チャイコフスキー作曲 バレエ音楽「白鳥の湖」より“情景”

1 曲を聴きながら、想像した情景や、感じ取ったイメージ・感情などをメモしよう。

① 最初の部分	
・ ・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・ ・
② 中間部分	
・ ・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・ ・
③ クライマックス	
・ ・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・ ・
④ 終りの部分	
・ ・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・ ・
全体を通して	
・ ・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・ ・

2 曲を聴いて想像した情景や、感じ取ったイメージ・感情などを文章で書いてみよう。

※ **主語と述語**を明確に書くこと。

(例：**私は**、この曲の最初の部分を聴いて、**OOOO**という**感じがしました。**)

:

△△△△という情景が**浮かびました。**)

3 曲をもう1度聴いて、「2」の理由を音楽的な用語や記号を使って書こう(器楽の本 p. 88 や表の下を参考に)。

※ 理由を結論先行で書こう。理由が複数ある場合は、ナンバリングを使おう。

(例：なぜならOOOOだからです。

: その理由は2つあります。1つ目は◇◇◇◇だからです。2つ目は☆☆☆☆だからです。)

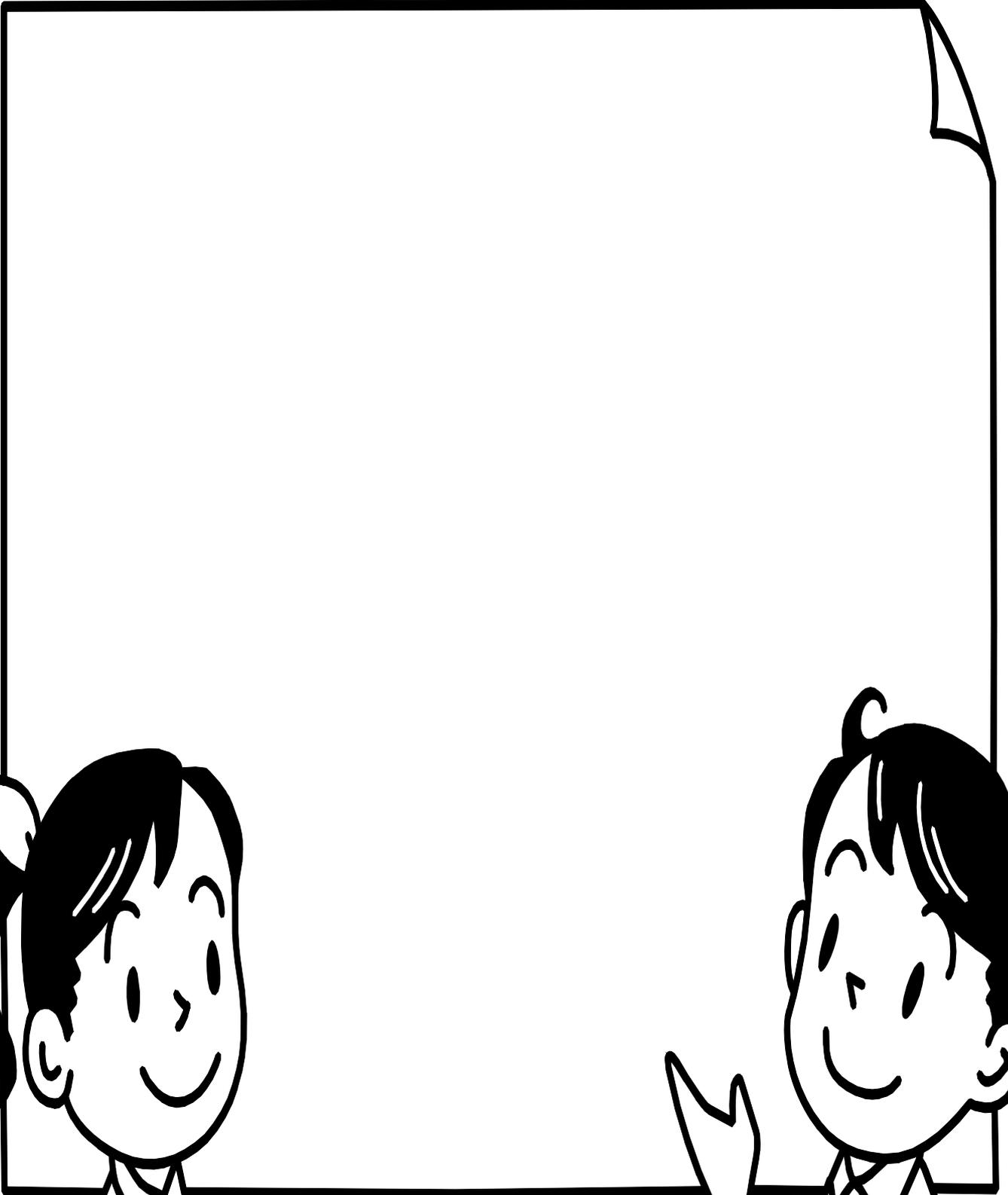
2 曲を聴いて想像した情景や、感じ取ったイメージ・感情など	3 「2」の理由

「音楽的用語や記号」の例

- ・音色 (バイオリンなどの「弦楽器」・トランペットやホルンなどの「金管楽器」・オーボエやクラリネットなどの「木管楽器」・シンバルやティンパニなどの「打楽器」等, 各楽器の音色やその組み合わせ, オーケストラ全体の響きなど)
- ・形式 (二部形式など) ・構成 (反復, 変化, コントラスト) ・旋律 (音の高さ, つながり, 方向性, フレーズ, 音階など) ・リズム (拍の流れ, 拍子, パターン, 音符や休符, 反復や変化など) ・音の重なり (音や旋律の組み合わせ, 和音) ・テンポ (速い, 遅い, *rit.*, *accel.*など) ・演奏上の記号 (アクセント, スタッカート, スラーなど)
- ・強弱 (*p*, *mp*, *ff*,  など)

P. I. チャイコフスキー作曲／バレエ音楽「白鳥の湖」より“情景”の紹介文を書こう。

3年（ ）組（ ）番 名前（ ）



<参考資料?>

「紹介文の例」

私は、最初の部分はとても優しく、しなやかで優雅なイメージを持ちました。それは、テンポが遅く、ハープや少数（弱い）のバイオリンが優しさを表現していたからだと思うからです。

次に中間部分で何かに衝撃を受けて焦っているように感じました。それは、テンポが少し速くなってトランペットなどの金管楽器などが一気に入り、とても迫力があつたからです。音色もどことなく低くなり、そう感じました。

終わりの部分では、初めに戻ったような優しいイメージから少しずつ音が低くなり、暗いイメージを持ちました。それは、テンポも遅く、楽器も中間部と比べ、弱くなったからです。

全体を通して、この曲はたくさんの表現が詰められていると思いました。文章と同じように起承転結が想像できる曲だと思いました。

この作品は、静かなオーボエのメロディーから始まって、その中にハープの3連符の動きや、コントラバスのピッツィカートの動き、それとバイオリンのトリルの動きが合わさって最初の情景（白鳥がかれいに泳ぐようす）が完成します。

中間部では、ホルンの力強いメロディーとトランペット、トロンボーン、チューバなどの金管楽器、オーボエ、フルート、クラリネット、ファゴットなどの木管楽器、そして弦楽器の伸ばす音が合わさり（悪魔に呪われていく王女）が出来上がります。

クライマックス部分では、トランペット、トロンボーン、チューバ、コントラバスなどの中低音や金管楽器が迫力ある音を出していて、そこに残りの楽器が入って全体的に力強くなるのです。

そして最後の部分では、フルートからメロディーが始まり、チューバ、コントラバス（低音楽器）、バイオリンが *decresc.* しながらつながっていき、FINARE となります。そこから白鳥が眠りに付く様子が描き出されているかと思えます。

最初の部分は、平和な日に王子が湖にいる情景が浮かびました。理由は、バイオリンのテンポがゆっくりで、優しい音色が湖の流れのように感じたからです。しかし、中間部分では、平和が崩れ、悪魔がいる情景が浮かびました。トランペットに迫力があり、全体に音の高さが低いので、暗さを感じたからです。クライマックスの部分では、テンポがなめらかだったので、王子とオデット（偽物）が幸せに過ごしている場面が浮かびました。でも、最後は暗い感じのまま曲が終わったので、王子たちの幸せがくずれたんだなと思いました。中間部分よりも全体に迫力があり、暗さを感じたからです。

この曲は、全体を通して王子とオデットの出会いから結末までが想像できました。音楽だけでその場面の情景が浮かんできたのでとてもおもしろかったです。

(以上、原文のまま)